



Eld: KouWUKAI  
〒545 1-1307, 1-6, Asahimachi, ABENO, Jap.

10, Apr. '86 N-TO. 301

イオム通信  
向井 孝

大阪市阿倍野区旭町1-6, 1307

## 5 大島 & トンビ

初詣のため、わが社える正月晴着“大島”は、五年前出獻して、三ヵ月ほど我が家に逗留せしMさんが、置きゆきたる形見なり。

かれは、大学専門百数十件のせつ盜名人にして、律氣誠実、いまも心に残る優しき人柄なりしか……  
(三年前、それらしき無名の賀状を受けとりしより、絶えて消息を知らず、いづこの空にこの正月を迎うるらん——)

と、寸時にしてふう子さん、自転車にのりて追いつき来る。

自転車は陸橋下に留置し、われ、物蔭より現われしとき、黒きトンビに身を包みて、たちまちヘンシンした出るなり。

「仲達、ワレヲ見誤ツコトナカレ!」

われトンビを翻えして阿倍野橋を越ゆ

さればふう子さん『さむしさむし』とて、しきりにトンビの袖口より、手を差し入れてよりそい来る。

われは『やめよやめよ、仲達がいかに見るらん』と言いつつ、その指のつめたきを、そっと握りかえしめるなり。

二人、手をとりあいて大交叉点を渡り、天王寺公園前を過ぐれば、あたかも“新派舞台の通行人”的ごとし。

人まばらにして、遠く小さけれど、恥かしや。

7 仲達出現

公園前大交番を十歩、横断地下道の入口に至る。

われ矢庭にふう子さんの手を引き、ぱっと飛び込んで、待つこと三分。ふたたび路上に出んとす。

とたんに、覗き込む如く二、三歩下り来れる男、あ、と小さき悲鳴をあげ、地下街へ走り去り行けり。

然り仲達、やっぱり現われたり。

「サスレバ、モウ一人力二人ハ必ズ組ンデイルハズノ、ソノ仲達ハイズコ!」

8 モグラ変身

そこより路上を行きて五十歩、念の為にわれら、向う側へと道路を渡る。

すこし離れし地蔵より、立ちどまりふりかえりて、しばし地下道出口を注視しおれば、この寒風にケナゲなるかな、先刻の仲達、案の定、キヨトキヨト顔を出し來りて見廻すなり。

（「オーバー」を脱ぎ、丸め持ちしは変身のつもりならん。なれど小さきバッグを下げしは変らず……）

たちまちわれら二人が立ち待つを認めて、愕然ノふたたび地下に潜りしは、モグラの性にてもあるらんか。

9 作戦論

かくてふう子さんは言いぬ。

（見よ、いま向う出口かたえの電話ボックスに、仲達逃げこめり。彼の動きを見守らば、他の仲達が在りかも明らかとならん。なれどわれ、いまより一切気付かぬふりをなさん。オイチャンもかまえて振りかえることなけれ。

即ち、一ナンニモヤラヘン、トイウコトヲ、ヤル一のが今日の作戦ならざりしや」と。

すでに五百歩、行手に石の大鳥居みえ来。

「しかり、しかり。われらは孔明なりし。仲達が走るにまかせて、あとは野となれ山となれの道行きホイホイなり」と。

すでに五百歩、行手に石の大鳥居みえ来。

「見失ウナカレ仲達ヨ、サレバ阿倍野署ヨリモット応援ヲ求メ、ワレラニ蹤イテ、イヨイヨ走レー」

「カマの朝市で求めし金三千円の掘出し物“トンビ”を取って来ん。オイチャンせっかくの着る機会なり」と。  
約五百歩、阿倍野陸橋下にて逢わんことを約す。しかしの別れなり。  
「ワレラガ別行動、仲達ノ思惑ヤイカン——」

高慶十三階より出て、エレベーター待ちの三分間、四開を下瞰す。

さらに地上に降り立ちて、路边東西を見廻すも、一望ガランガランの正月風景。

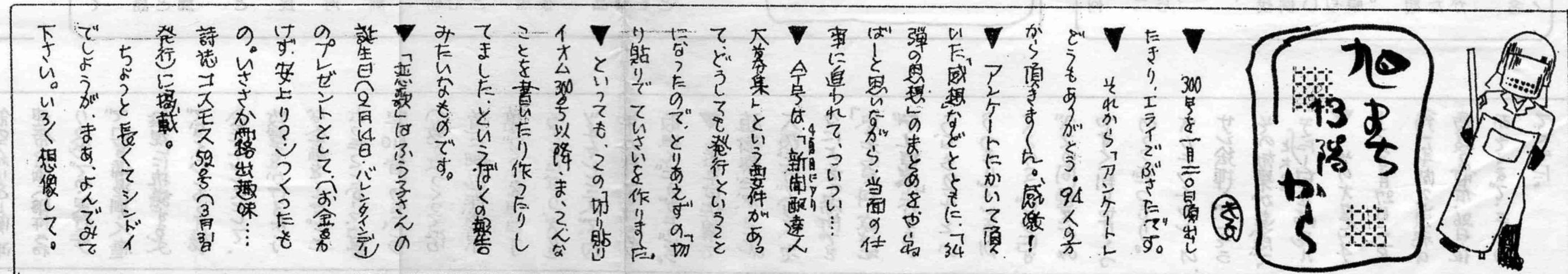
広き道の両側に置き去られたる駐車、無数につらなりて全く人影なし。午後二時すぎなり。

「仲達ハ、イズクニアリヤ——」の未だ聯の、武蔵言う。

「風あり、いさか寒し。  
約百歩、市大病院赤ポスト前に来しとき、ふう子さん言う。

「カマの朝市で求めし金三千円の掘出し物“トンビ”を取って来ん。オイチャンせっかくの着る機会なり」と。

「わかれなり。  
「ワレラガ別行動、仲達ノ思惑ヤイカン——」



四天王寺参道、ゆるやかなる坂をのれば、空明るく、広き境内に散らばりし人影、小さくして凡そ数百人。中央石碑み添いに、出店、縁日のごとく連なるも、みな、客は一人か二人、うそ寒げなり。

一周して〈亀の池〉に至る。水渴れて蕭々たり。名物の亀數千匹、いまはひび割れたる泥土の中に、土くれと化して眠るや。

一羽の鳩、池中央の石山に歩む。その朱き脚の、片脚に足趾なし。

そを見入るは、欄干に寄り、ひしと肩よせあいたるわかれら、ただふたりのみなり。

## 11 道行き一心坂

境内を出でんとして、仏具店脇にひそむ仲達を見たれども、構わず過ぐ。

一心寺の前、大いなる坂道を新世界へと下る。

百歩にして、合邦カ辻・えんま堂の標石あり。道に面したる小さき方形の堂宇、戸格子の中を覗けば、ただ暗く何もなし。

さらに五十歩。ふたたび標石に逢う。真田幸村戦死の地と謂えり。

神前に赴きて二拍手、われ色褪せし絵馬を探るに、ふ松柏われらが頭上にかさなり、叢林迫りて、人気なき天満宮祠を埋む。

よつて右折して数十歩、たちまち深山幽谷のごとし。

松柏われらが頭上にかさなり、叢林迫りて、人気なき天満宮祠を埋む。

神前に赴きて二拍手、われ色褪せし絵馬を探るに、ふう子さんそっと背後よりきて、わがトンビの袖の下に、ふすっぱり入り来りぬ。

われまた拒まず、伸びてきし腕のわが腰を抱くに任せたり。

## 12 大団円

そのまま、細き躑躅の径を辿りて、十歩。

突如、眼路展けて、崖下へと長く急なる石段、ややくねりて下る。

露地みえて、眼下一望の街区、淡く一せいに灯火を掲げて、恵美酒町なり。

「あ、見よや」と、ふう子さん小さく叫ぶ。

宙天の夕日、かなた通天閣中腹にかすみ、その左方指さす方に、暮靄ひろがる動物園の森の明るき夕空を区切りて、わが家十三階は立つ。

帰らなん。はや四時半を過ぎぬ。

されば互みに手を引き、石段を下らんとして三歩、四歩、ふと振りむけばおどろくべし、樹影、つとゆらぎて、仲達なり！

もしやと、脚下の露地を見定むれば、なんぞ仲達二人上わからが下り来るを待つ。上下より挟みつつ如し。

さもあらばあれ、われら相呼びて足下を踏めば、長き石段いつ果つるなく、陣風にわかにわれを包む。

すでにふう子さん、胡蝶と化して風に舞うなり。

われまた、風裡に双手を伸ばして、ふう子さんを抱かんとすれば、たちまち火箭のごときもの、五身をつらぬきたり。

われら一しゅんにして光炎となり、杏として中空を翔ぶ。

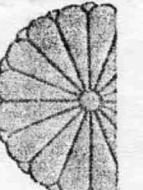
あわれら相擁して、いま天駆ける光なる哉。

氣付けば、眼下新世界ジャンジャン通りを越えて、はや市大病院は指呼の彼方に近づきたり。

一サレバ仲達、イカニ見シト、フレラガ帰リユクトキヲ、ソノ「報告書」ニシテルカ、語レ一

## こうがいじんけん 皇室・人権 110番 案内

モレモレ…



5月10~12日まで天皇が大阪にやって来る  
植樹祭(堺)のため…過剰警備・人権侵害  
話すぐ下さい。  
電話

06-361-4113  
0722-22-2209

▼ 植樹祭に天皇が臨席するのは、たつたの30分。何をするかといえば、おことば、お手時、お手植え。

▼ この30分のため、お隣りの奈良の時は中央来賓二千、地方五千の計七千人。奉仕員三千。この輸送やら弁当やらで、三億二千万円(公表)を税金から支出さる。

▼ それにもまして問題なのは、一万人もが車で來るので、森を削って会場をつくる。例えは85年の熊本阿蘇では、美しい保安林が警備の邪魔になると伐り倒され、来賓用大駐車場用に草原と林が丸はだかの広場にされた。

▼ 人権侵害の告発には、証拠が大切。警察官の氏名や車の番号を確認し、録音器やカメラなどの活用も!

▼ 一九五〇年、荒廃地造林をかけて発足した「第一回国土緑化大会」は、六〇年、全国植樹祭となつて、列島改造、乱開発をごまかす環境美化行事となり。▼ 七〇年代、ふるさとづくり町づくり、愛郷愛国の天皇中心行事と化しながらなつて、過激派狩りの名のもとに、運動家・非協力市民のあぶり出しと監視、市民住民運動の情報あつめ。

▼ Xデー(天皇の死亡する日)を予想した治安対策の完成。人権無視の規制・警備の慣例化。(1)過激派狩りの名のもとに、運動家・非協力市民のあぶり出しと監視、市民住民運動の情報あつめ。

▼ (2)Xデー(天皇の死亡する日)を予想した治安対策の完成。人権無視の規制・警備の慣例化。

▼ (3)日の丸、君が代、万歳三唱、天皇奉讃の住民訓練と、自治体利用の動員組織づくり。

▼ 加えて今年は「在位60年」。大阪植樹祭(堺・大仙公園)は、天皇が出席するたつた30分間のために、沿道歓迎10万人、御堂筋奉祝パレード2万人の動員など天皇賛美一色、戦後最大のデモンストレーション。

▼ とくに私達にとつての問題は、当曰5月11日を焦点に、大阪一堺間沿道周辺一帯は、まさに戒厳令前夜、戦前さながら……。

▼ 聞き込み・アパートローラー作戦・検問・所持品検査・尾行・張り込み・通行止め・迂回命令・立入禁止・覗き見下ろし箇所封鎖・とじ込め・もし、文句をつければ、不穏分子逮捕・家宅捜査と、市民の人権どこへやら。

▼ 何かのときは、すぐ「皇室・人権一一〇番」電話06-361-4113 or 0722-22-2209

▼ カナヘイ植樹祭  
あ手植え一本  
山まるはだか

▼ 来年は佐賀で植樹祭だが、ことの大坂だけではなく、次々によそな場所でさくらを貢献或はさくら見本になるよ。うつもりでどもかくことミニヒラにすべての向日葵をみやすく割りやすく、めこんだつおり。大カモツチヤンのサシ絵挿んで、そらそらの向日葵が達成でモテ白己滿足!!

▼ その大をソチヤン・3月27日上京(約一年前)出發の最後の晩夜、6日夜あそくまで、平佐つてくれた。